

CVIT研修施設・研修関連施設

2023年度更新申請マニュアル  
(救済対象施設向け)

# COVID-19による救済対象施設について

COVID-19感染拡大に伴い認定期間に2020年が含まれる期間は、更新申請時期を1年後ろ倒ししております。一覧表より、自施設の認定状況および救済の有無を必ずご確認の上、ご申請ください。

## 研修施設・研修関連施設一覧



本マニュアル対象

### 【救済対象施設】

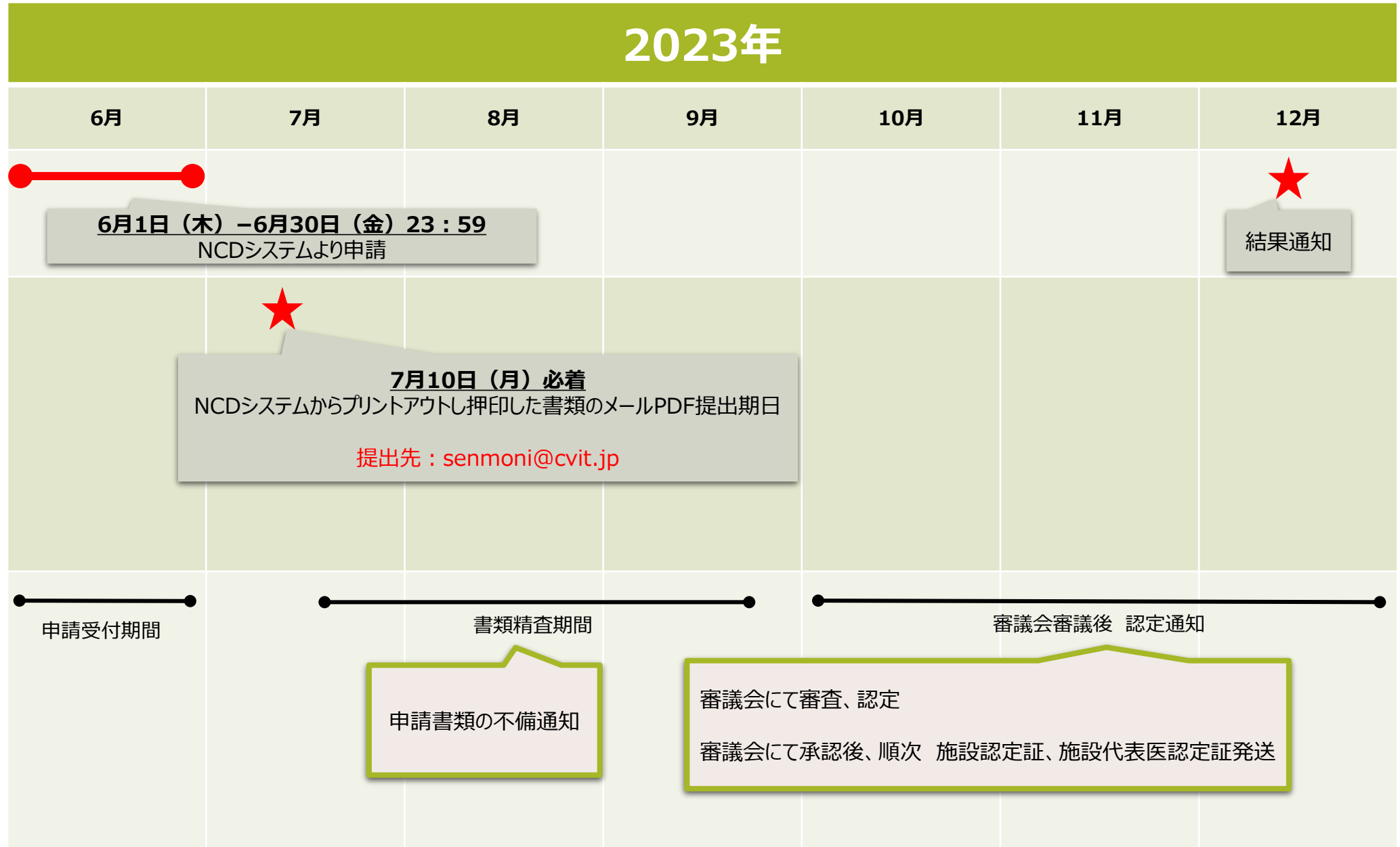
研修施設・研修関連施設一覧にて、変更後の認定期日が「2022年12月31日」の施設

### 【救済なしの施設（通常更新）】

2020年度新規認定された初回認定日【2020/8/27、2020/11/26】の施設、2022年7月以降に再認定となった施設

# 申請の流れ

認定された場合の認定期間：2023年1月1日から2024年12月31日



# 研修施設・研修関連施設 更新申請条件について（COVID-19救済対象施設）

資格更新規定(施設代表医と研修施設および研修関連施設の更新)

12. 研修施設および研修関連施設の資格更新条件は以下とし、更新は**2年毎※1**とする。

- ① 心血管カテーテル治療専門医または名誉専門医が少なくとも1名常勤していること。
- ② 研修施設は**2年間※1**で400例以上のカテーテル治療（ただし200例以上は冠動脈形成術を必須とし、400例のうちシャントPTAを25例まで認める）を実施し、常勤の心臓血管外科医がいること。
- ③ 研修関連施設は**2年間※1**で200例以上のカテーテル治療（ただし100例以上は冠動脈形成術を必須とし、200例のうちシャントPTAを25例まで認める）を実施し、緊急時に対応できる心臓血管外科施設との連携が維持されていること。
- ④ J-PCI、J-EVT/SHD(外科領域レジストリー含む)レジストリーに参加し、施行した症例の全例登録を行っていること。なお、研修施設から研修関連施設への格下げ新規申請、および、研修関連施設から研修施設への格上げ新規申請の場合も、継続して施行した症例の全例登録を行っていること。全例登録を行っていない場合は、その年の新規申請は認められず、認定施設の資格は喪失する。
- ⑤ 施設訪問によるデータ照合(Audit)の依頼があった場合、監査を受けること。

**※1** 通常、更新時に2年間のカテーテル治療実績数が必須となりますが、COVID-19の影響による救済措置として、認定から、もしくは最終更新後の認定開始日から今回認定期日（COVID-19救済後の認定期日）までの**3年間のカテーテル治療実績数をお認めします**。なお、今回の更新のみの救済措置となります。

治療実績該当期間：2020年1月1日～2022年12月31日までの3年間

# 申請書類提出 <事務局へメールでPDFを送付する書類>

研修施設および研修関連施設の資格更新申請の手続きにはNCDシステムより入力、ダウンロードした以下のものを提出しなければならない。

①

- 研修施設、研修関連施設認定申請書

②

- 施設内情報（心血管造影室と設備、循環器医師数、心臓血管外科医師数等）

③

- 3年間のカテーテル治療実績数（本学会、心血管カテーテル治療の定義には含まれる外科領域レジストリーに登録されている「大動脈ステントグラフト、Structural Intervention（構造的インターベンション）、小児先天性心疾患に対するインターベンション」を申請に含める場合は、各々のレジストリー登録画面のキャプチャーを申請書と一緒に提出すること。）

④

- 心血管カテーテル治療専門医または名誉専門医の勤務に関する施設長の証明書

⑤

- NCD フィードバックシステムの自施設の該当画面をプリントしたもの

◆ NCDシステムからの申請：2023年6月1日（木）～2023年6月30日（金） 23:59

◆ NCDシステムからプリントアウトし押印した書類のメールPDF提出期日：2023年7月10日（月） 必着

◆ メール送付先：[senmoni@cvit.jp](mailto:senmoni@cvit.jp) ※メールPDF送付にてご提出をお願いいたします。

# 認定期間について

2023年6月のNCD連携システムより直接更新申請を経て、認定された場合は、

**2023年1月1日から2024年12月31日まで**

**※次回更新時期は2025年6月頃を予定**

次回更新は、全施設が通常更新（救済措置なし）となりますので、2年間のカテーテル実績のみお認めいたします。

治療実績該当期間：2023年1月1日～2024年12月31日までの2年間

# 【重要】NCD未登録症例救済 フォーマット廃止について

2017年までは、レジストリー未登録症例は、別途救済フォーマット（症例登録フォーマット・申請症例証明書）の提出をもって認められてきましたが、**2017年1月1日以降の施行症例より、レジストリー未登録症例は、一切の救済なく、認められません。**

# ①申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

通常のNCD症例登録サイトにログインして右のメニューのCVIT研修施設・研修関連施設申請のボタンから開始してください。



こちらの申請画面へのボタンが表示されない場合は、  
右上の【利用者情報変更】をクリックし、【症例登録領域選択】でCVITが選択されていることをご確認ください。



## ②申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

### 認証

パスワード認証が必要です。

- **利用者 (施設 診療科)**を確認してパスワード認証してください。
- 対象の施設・診療科を変更する場合は、NCD症例登録システムで変更した後、本システムへ移動してください。
- パスワードはNCD症例登録システムと同じものです。

**利用者 (施設 診療科)**

症例 太郎 先生 (施設1 診療科1)

**パスワード**

もう一度パスワードを入力してください。  
NCDの症例登録ログイン時と同じパスワードです。

認証して進む

# ③申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）



## 施設申請

### 施設申請の開始

現在登録済みで施設種別に変更が無い場合:

更新申請を開始する

新規に申請する場合、または施設種別を変更する場合:

- 下記のケースが該当します。
  - 現在、CVIT認定施設ではない
  - 研修関連施設から研修施設への変更(格上げ申請)を行う
  - 研修施設から研修関連施設への変更(格下げ申請)を行う

新規申請を開始する

### 施設申請の履歴

- 事務局の諸手続きが完了したものが表示されます。
- 2015年度以前および本システムを利用しなかった場合は表示されません。

2022年度 研修関連施設 更新 申請

認定番号	X1234
(フリガナ) 施設名	シヴィットビョウイン C V I T 病院
所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2 高橋ビル9階
電話番号	03-3556-5062
担当科	循環器内科
診療科長	黒木 慶次郎
学会施設代表医	心血管 教夫

【特記事項】  
レジストリー登録していなかったため、記入ができません。

最終印刷画面には  
右下にバーコードの  
印字がされています。

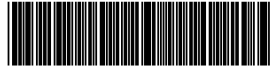
書類提出後、事務局が書類のバーコードを読み取ると「受理済み」としてこの「施設申請の履歴」に表示されます。（受理されていない場合は「履歴なし」と表示されます）500施設弱の書類を受取り順次読み取っていきますので反映までにお時間をいただきます。反映をもって書類受領の連絡と代えさせていただきます。

整理番号: 20160614000000000003

(学会使用欄)



111 113 652 268 187 768 185 616 683



336 123 111 276 827 211 325 5

## ④申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

### 更新条件

2023年度の更新につきましては、COVID-19の影響による特例として、一部の施設(※)を除き、下記規約と異なり3年間のカテーテル治療実績を認めます。

※ 初回認定日が【2020/8/27、2020/11/28】の施設、2022年7月以降に再認定された施設は以下の規約通り2年間のカテーテル治療実績を認めます。  
資格申請システムには3年間の治療実績が表示されますが、審査は2021年、2022年のみを対象として行いますのでご注意ください。

研修施設／研修関連施設を選択  
入力手順を熟読し、入力を開始してください。

(施設代表医と研修施設および研修関連施設の更新)

12. 研修施設および研修関連施設の資格更新条件は以下とし、更新は2年毎とする。

- ① 心血管カテーテル治療専門医または名誉専門医が少なくとも1名常勤していること。
- ② 研修施設は2年間で400例以上のカテーテル治療(ただし200例以上は冠動脈形成術を必須とし、400例のうちシャントPTAを25例まで認める)を実施し、常勤の心臓血管外科医がいること。
- ③ 研修関連施設は2年間で200例以上のカテーテル治療(ただし100例以上は冠動脈形成術を必須とし、200例のうちシャントPTAを25例まで認める)を実施し、緊急時に対応できる心臓血管外科施設との連携が維持されていること。
- ④ J-PCI、J-EVT/SHD(外科領域レジストリー含む)レジストリーに参加し、施行した症例の全例登録を行っていること。  
なお、研修施設から研修関連施設への格下げ新規申請、および、研修関連施設から研修施設への格上げ新規申請の場合も、継続して施行した症例の全例登録を行っていること。  
全例登録を行っていない場合は、その年の新規申請は認められず、認定施設の資格は喪失する。
- ⑤ 施設訪問によるデータ照合(Audit)の依頼があった場合、監査を受けること。

— (協賛) 一般社団法人 日本心臓血管インターベンション治療学会

認定医・専門医・名誉専門医・施設代表医および研修施設・研修関連施設の資格更新規定

研修施設 更新申請

研修関連施設 更新申請

## ⑤申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

研修施設 更新申請 入力 1 / 5 基本情報 ログアウトする

施設の基本情報を入力・確認してください。

認定番号	<input type="text" value="X9999"/>
現在の研修施設認定番号を入力してください。 例) <span>X9999</span> (研修施設)	
施設名	<input type="text" value="東京インタベ病院"/>
施設名 (フリガナ)	<input type="text" value="トウキョウインタベビョウイン"/>
郵便番号	<input type="text" value="001-0101"/>
例) <span>101-0051</span>	
都道府県	<input type="text" value="東京都"/>
住所	<input type="text" value="東京"/>
電話番号	<input type="text" value="090-1234-0101"/>
例) <span>03-3556-5062</span>	

施設長

姓

名

CVIT研修施設は【**X**で始まる4桁の数字】  
CVIT研修関連施設は【**Y**で始まる4桁の数字】が認定番号です。

# ⑥申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

研修施設 更新申請 入力 2 / 5 施設概要 ログアウトする

施設概要を入力・確認してください。

I 循環器内科 (またはそれに該当する科)

常勤医  名

II 病棟 (病床数)

CCU  床

一般病棟 (循環器)  床

総病床  床

循環器専任当直 ☒ あり ☐ なし

III 心血管造影室

心血管造影室  室

Cine Angio 装置

Biplane  台

Single Plane  台

専属スタッフ

看護師  名

臨床工学技士  名

施設概要をもれなく入力してください。

## ⑦申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

### Ⅲ 心血管造影室

心血管造影室

5 室

Cine Angio 装置

Biplane

6 台

Single Plane

7 台

専属スタッフ

看護師

8 名

臨床工学技士

9 名

放射線技師

10 名

臨床検査技師

11 名

専属スタッフで資格を所持している人数を  
以下に記載してください。

うち資格保持

専属スタッフのうち、INE(インターベンションエキスパートナース)、ITE(心血管インターベンション技師)、JAPIR(日本血管撮影・インターベンション専門放射線技師)について資格保持者ののべ人数(重複カウント)を入力してください。

1 名

## ⑧申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

### 研修施設 更新申請 入力 3 / 5 カテーテル治療実績

ログアウトする

カテーテル治療実績を確認してください。

#### 外科領域レジストリー登録症例について

本学会 心血管カテーテル治療の定義に含まれる「大動脈ステントグラフト」「Structural Intervention (構造的介入)」「小児先天性心疾患に対するインターベンション」の外科領域レジストリー登録症例を申請に含める場合は、入力し、各々のレジストリー登録画面のキャプチャーを申請書と一緒に提出ください。

#### 資格更新時のシャントPTAについて

資格更新規定にてシャントPTAは25例が上限となっております。

シャントPTAの症例が申請に含まれる場合、申請画面上で条件を満たしている则表示されていても、事務局に25例を超える数を減じた結果、症例数不備となる場合がございますので、ご注意くださいようお願いいたします。

- 各年「集計」行にはNCD登録症例(J-PCIおよびJ-EVT/SHD)の集計値が自動入力されます。
- NCDに登録された症例のうち、「完了(承認済み)」のみが自動的に抽出されます。  
「完了(未承認)」「編集中」ステータスの登録症例は集計に含まれません。

NCDに登録された症例のうち、  
**「完了（承認済み）」のみが自動的に抽出されます。**  
「完了（未承認）」「編集中」のステータスの登録症例は抽出されません。  
未登録症例は、認められません。手入力での症例数は入力を行わないでください。

年		緊急PCI			待機的PCI			EVT/SHD	その他	総数
		症例数	死亡例	死亡率	症例数	死亡例	死亡率			
2022	集計	0	0		0	0		0	0	411
	入力値	0	0		0	0		0	0	
	計	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	
2021	集計	0	0		0	0		0	0	
	入力値	300	0		0	0		10	0	
	計	300	0	0.0%	0	0	0.0%	10	0	
2020	集計	0	0		0	0		0	0	
	入力値	300	0		0	0		111	0	
	計	300	0	0.0%	0	0	0.0%	111	0	

救済対象施設は表示の通り、3年間の治療実績を集計します。



# ⑨申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

研修施設 更新申請 入力 3 / 5 カテーテル治療実績

カテーテル治療実績を確認してください。

## 外科領域レジストリー登録症例について

本学会 心血管カテーテル治療の定義に含まれる「大動脈ステントグラフト」「Structural Intervention (構造的インターベンション)」「小児先天性心疾患に対するインターベンション」の外科領域レジストリー登録症例を申請に含める場合は、「その他」に症例入力し、各々のレジストリー登録画面のキャプチャーを申請書と一緒に提出ください。

## 資格更新時のシャントPTAについて

資格更新規定にてシャントPTAは25例が上限となっております。

シャントPTAの症例が申請に含まれる場合、申請画面上で条件を満たしている则表示されていても、事務局にて総数を確認する25例を超える数を減じた結果、症例数不備となる場合がございますので、ご注意くださいようお願いいたします。

- 各年「集計」行にはNCD登録症例(J-PCIおよびJ-EVT/SHD)の集計値が自動入力されます。
- NCDに登録された症例のうち、「完了(承認済み)」のみが自動的に抽出されます。  
「完了(未承認)」「編集中」ステータスの登録症例は集計に含まれません。

年		緊急PCI			待機的PCI			EVT/SHD	その他	
		症例数	死亡例	死亡率	症例数	死亡例	死亡率			
2022	集計	0	0		0	0		0	0	
	入力値	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	
	計	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	
2021	集計	0	0		0	0		0	0	
	入力値	<input type="text" value="300"/>	<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	
	計	300	0	0.0%	0	0	0.0%	10	0	
2020	集計	0	0		0	0		0	0	
	入力値	<input type="text" value="300"/>	<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="111"/>	<input type="text" value="0"/>	411
	計	300	0	0.0%	0	0	0.0%	111	0	

NCDに登録された症例のうち、外科領域レジストリー登録症例について  
本学会 心血管カテーテル治療の定義に含まれる「大動脈ステントグラフト」「Structural Intervention (構造的インターベンション)」「小児先天性心疾患に対するインターベンション」の外科領域レジストリー登録症例を申請に含める場合は、「その他」に症例数を入力し、各々のレジストリー登録画面のキャプチャーを申請書と一緒に提出ください。

更新申請では、シャントPTAを25例まで含めることが可能です。登録した症例数は自動的に抽出されます。  
シャントPTAの症例が申請に含まれる場合、申請画面上で条件を満たしている则表示されていても、事務局にて総数を確認する際、25例を超える数を減じた結果、症例数不備となる場合がございますので、ご注意くださいようお願いいたします。




⑩申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

研修施設 更新申請 入力 4 / 5 所属医師

ログアウトする

所属医師(CVIT会員)を入力・確認してください。

- 入力内容は **保存して次へ** で進むまで保存されません。 **戻る** や **追加** **適用** のみでは保存されませんのでご注意ください。
- 複数の端末から同時に編集しないでください。一番最後に保存した内容で一覧全体が上書きされます。

#	医籍 登録番号	CVIT 会員番号	常勤	資格区分	認定番号	氏名	フリガナ	操作
1	222222	34567	はい	認定医	F4444	鬼頭 笙子	キトウ ショウコ	 編集  削除
2	234567	23456	はい	専門医	B2345	ハセ マヨネーズ	ハセ マヨネーズ	 編集  削除
3	777777	00001	はい	名誉専門医	H9999	心血管 教夫	シンケツカン ノリヲ	 編集  削除

+ 追加

次へ

申請時に施設に所属しているCVITの会員（認定医・専門医・名誉専門医）を全て【追加ボタン】より入力してください。

## ⑪申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

施設「診療科」(症例太郎先生)

研修施設 更新申請 入力 5 / 5 学会施設代表医

ログアウトする

学会施設代表医を選択してください。

学会施設代表医

(CVIT会員番号) 氏名

☐

(34567) 鬼頭 笙子

☐

(23456) ハセ マヨネーズ

☒

(00001) 心血管 教夫

施設代表医は「専門医」もしくは「名誉専門医」の医師を選択してください。

保存して次へ

戻る

Copyright © National Clinical Database. All Rights Reserved.

## ⑫申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

### 研修施設 更新申請 内容確認

申請内容を確認してください。

#### 認定基準

- 認定基準を満たしています。

#### 項目

心血管造影室が設置されていること  
心血管造影室専任スタッフがいること  
常勤の専門医または名誉専門医がいること  
心臓血管外科との連携  
カテーテル治療実績  
冠動脈形成術実績

### 研修施設 更新申請 内容確認

申請内容を確認してください。

#### 認定基準

- 直近3年間のカテーテル治療実績が認定基準(400例)を満たしていません。
- 直近3年間の冠動脈形成術実績が認定基準(200例)を満たしていません。

項目	認定基準				状況	
	新規		更新		判定	実績
	研修関連施設	研修施設	研修関連施設	研修施設		
心血管造影室が設置されていること	必須				適	-
心血管造影室専任スタッフがいること	必須				適	-
常勤の専門医または名誉専門医がいること	必須				適	-
心臓血管外科との連携	必須	併設	必須	併設	適	-
カテーテル治療実績	3年間 300例	3年間 600例	3年間 200例	3年間 400例	不足	134
冠動脈形成術実績	3年間 150例	3年間 300例	3年間 100例	3年間 200例	不足	1

内容確認で全ての申請条件を満たしている場合は左上に【認定基準を満たしています。】の表示が出ており、不足項目がある場合は左上に【満たしていません】の赤文字表示が出ます。

## ⑬申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

[更新申請] 専門医認定医制度審議会本則、第7章第24条、第25条より研修施設または、研修関連施設の申請は全例登録が義務付けられており、施行症例でJ-PCI、J-EVT/SHDレジストリーの登録がないものは一切認められません。

本学会 心血管カテーテル治療の定義に含まれる「大動脈ステントグラフト」「Structural Intervention (構造的インターベンション)」「小児先天性心疾患に対するインターベンション」の外科領域レジストリー登録症例を申請に含める場合は、3/5 カテーテル治療実績「その他」に入力し、各々のレジストリー登録画面のキャプチャーを申請書と共にメール添付にて提出ください。

外科領域レジストリーに登録されている「大動脈ステントグラフト」、「Structural Intervention（構造的インターベンション）」、「小児先天性心疾患に対するインターベンション」を申請に含める場合は、3/5 カテーテル治療実績「その他」に入力されていることを確認の上、キャプチャーを申請書と一緒にご提出ください。  
該当症例がない施設はご提出の必要はございません。

### その他・特記事項

申請に際し、特記事項などがあればご記入ください。

NCDフィードバックシステム（施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較）に対する自施設の意見記載を赤枠内、【その他・特記事項】の欄に記入してください。

確認方法は、P24～をご確認ください。記載が出来なかった場合、メールおよびwordにご記載の上、ご提出いただいても問題ございません。

## ⑭申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

### 注意事項

- ・ 特記事項の内容が末尾まで印字されているかご確認ください(印字エリアはおよそ30文字/10行)。
- ・ 所属医師(CVIT会員)在籍証明書には50名まで印字されます。  
50名を超えた分の所属医師については印字されませんが、受理されております。
- ・ 確認書は受理されません。  
必ず申請書(右下にバーコードが印字されているもの)をご提出ください。

申請書を印刷モードで確認する  
この画面からは正式な申請書類は提出できません。

内容を確認する

正式な提出用印刷画面です。  
右下にバーコードが印字されているかを確認してください。

申請書を発行する

## ⑮申請操作（実際の更新申請の画面の流れ）

正式な申請書類です。


- 3枚綴でプリントアウトし、押印の上、提出してください。

1枚のみの差替えはバーコードが異なるため  
できませんので、必ず修正箇所がある場合  
は、新しく3枚綴でプリントアウトし直してくだ  
さい。

4箇所を押印も忘れずをお願いします。  
未登録症例のある場合、外科領域レジス  
トリ登録症例がある場合は、追加書類ととも  
に提出してください。

- NCDフィードバックシステム（施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較） 照会結果

印刷して、申請書と併せて提出してください。  
【特記事項】に自施設の意見記載が記入され  
ているかご確認ください。



CVIT  
Japanese Association of CARDIOVASCULAR INTERVENTION and THERAPEUTICS  
日本心血管インターベンション治療学会

## 2022年度 研修施設 更新 申請書

専門医認定医制度審議会 宛

日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設の更新をたく、所定の書類を添え  
致します。

2022年

施設長 \_\_\_\_\_


事務局 \_\_\_\_\_

— 記 —

<b>施設番号</b>	XXXX
<b>(フリガナ)</b>	トウキョウインタベジウイン
<b>施設名</b>	東京インタベ病院
<b>所在地</b>	〒001-8181 東京都東京
<b>電話番号</b>	000-1234-8181
<b>診療科</b>	循環器内科
<b>診療科長</b>	ハセ マヨネーズ
<b>学会施設代表者</b>	ハセ マヨネーズ

**【特記事項】**  
ICDフィールドバックシステムの結果を、当院での治療方針の参考に  
したいと考えます。

書類  
バー  
とし  
表示  
場合  
す)  
50  
み取  
時間  
反時  
えさ  
また  
まっ  
トア

整理番号: 2022050000000000002  
(学会使用欄)  


書類が提出され、事務局が書類のバーコードを読み取ると「受理済み」として「施設申請の履歴」の画面に表示されます。（受理されていない場合は「履歴なし」と表示されます）

500施設弱の書類を受取り順次読み取っていきますので反映までにお時間をいただきます。

反映をもって書類受領の連絡と代  
えさせていただきます。  
またバーコードの印刷がつぶれてし  
まった場合は高解像度で再度プリン  
トアウトしてご提出ください。

# 実際の提出書類

①

CVIT  
Japanese Association of CARDIOVASCULAR INTERVENTION and THERAPEUTICS  
日本心血管インターベンション治療学会

## 2022年度 研修施設 更新 申請書

専門医認定医制度審議会 宛

日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設の更新をたく、所定の書類を添えて申請致します。

2022年 5月13日

施設長 \_\_\_\_\_ NCD 事務局 印

— 記 —

押印をお願いします。

施設番号	XXXX
(フリガナ)	トウキョウインタベジウイン
施設名	東京インタベ病院
所在地	〒881-8181 東京都東京
電話番号	098-1234-8181
診療科	循環器内科
部長	ハセ マヨネーズ
学会代表者	ハセ マヨネーズ

【特記事項】  
NCDフィードバックシステムの結果を、当院での治療方針の参考にしたいと考えます。

フィードバックの記載  
をご確認ください。

整理番号: 20220513000000000005

(学会使用欄)



111 456 261 357 623 481 516 174 583



441 333 344 851 605 588 648 5

②

CVIT  
Japanese Association of CARDIOVASCULAR INTERVENTION and THERAPEUTICS  
日本心血管インターベンション治療学会 研修施設 更新 申請書 2/3

## 施設概要証明書

### I 循環器内科(またはそれに該当する科)

診療科	1 名
-----	-----

### II 病棟(病床数)

CCU	2 床
一般病棟(循環器)	3 床
救急室	4 床
循環器専任病室	なし

### III 心血管造影装置

心血管造影装置	5 室	
Cine Angle 装置	Biplane	6 台
	Single Plane	7 台
専任スタッフ	管腔医	8 名
	臨床工学技士	9 名
	放射線技師	10 名
	臨床検査技師	11 名
カテーテル検査室	なし	
緊急時対応	医師	常時可能
	スタッフ	常時可能

### IV カテーテル治療実績

年	閉塞 PCI (うち死亡率)	狭窄 PCI (うち死亡率)	PTVI/PTD	その他	総数
2021	300 例 0.0 %	8 例 0.0 %	10 例	8 例	310 例
2020	300 例 0.0 %	8 例 0.0 %	111 例	8 例	411 例
2019	8 例 0.0 %	1 例 0.0 %	12 例	8 例	13 例
****	*** 例 *** %	*** 例 *** %	*** 例	*** 例	*** 例
****	*** 例 *** %	*** 例 *** %	*** 例	*** 例	*** 例

押印をお願いします。

### V 心臓血管外科

心臓血管外科	院内に併設	診療科	12 名
	***** あり *****	緊急時対応 医師名	***** あり *****
責任医師	はせ マヨネーズ 印		

上記の内容に相違ありません。

2022年 5月13日

施設長 \_\_\_\_\_ NCD 事務局 印

整理番号: 20220513000000000005

(学会使用欄)



618 547 125 853 543 475 768 5



③

**在籍証明書**

国庫 金庫番号	CVT 金庫番号	用途	貨幣区分	鑑定番号	品名	フリガナ
000000	000000	ほし	専門区	000000	八咫 マコネーズ	八咫 マコネーズ
					0000000000 八咫 赤白 0000000000	0000000000 八咫 赤白 0000000000

押印をお願いします。

上記の者は、当施設の職員に相当する方です。

2022年 11月13日

施設長 NCD 事務局 印

(学会使用)



# フィードバックシステム

NCD Feedback [www.who.int/ncd\\_feedback](http://www.who.int/ncd_feedback)

Risk Calculator

無菌性原料の製造経路と  
バイオ・サステイナブルな生産

手稿件数

自らの診療科の患者さんの健康とパフォーマンス向上を徹底することができず、

※国と比較することで、自国の特許料がどのような傾向・特徴をもっているか、把握することが出来ます。

### 聯合訓練

RUBA : 2010/01/01 - 2010/12/31

(絶好一歩作設: 405 全滅了作設: 0 設計科教科の受取部: 11 設計室科作設: 405)

品質保証材料で開発を受けた品質についての、Cv(T)(3-PC) Quality Indicatorの分析結果を確認することができます。この分析に関する詳細（対象施設の種類、分析対象材料の製造番号等）は、以下のPCFを参照のため、ご確認ください。

© 2012-2013 Oxford University Press. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, without prior written permission from Oxford University Press.

月別	イベント	外科領域外科			ハローワークズの参加状況
		参加数	参加者満足度割合	%	
1	ACS症例の報告	140	435	26.0%	150
2	緊急症例の報告	140	435	26.0%	150

①～③、フィードバックシステムの書類は必須提出です。  
外科領域レジストリー症例を申請に含む場合は、別途書類をご提出ください。



# フィードバック機能の表示

氏名A B 先生

施設診療科施設診療科切替

テスト施設フィードバック科

ユーザータイプNCD診療科長(NCD Department Director)

CVIT EVT/SHD)

臓器がん

領域CVIT (J-PCI) 、 CVIT (J-EVT/SHD)



患者データ新規登録

登録データ検索

新規症例アップロード機能

自施設データ利用

2018/06/21 17:35

 [【J-PCI登録にご尽力の皆様】手技に関する合併症 入力の様式変更のお知らせ](#)

2018/06/18 17:03

 [各施設診療科でのオプアウト実施状況確認のお願い](#)

2018/06/15 11:18

 [【泌尿器科登録にご尽力の皆様】泌尿器科システム改修のご連絡](#)

2018/06/14 13:54

 フィードバック機能

 Eラーニング

 FAQ・CRF  
症例登録マニュアル

 NCDデータを使った  
臨床研究

 術者登録

 Audit結果管理

 破裂性AAA画像閲覧

ログイン後のTOP画面、赤枠【フィードバック機能】より、全国比較の照会をお願いします。

# フィードバック機能の表示

**NCD Feedback**

専門領域ごとに、NCD登録症例のデータを利用した次の集計・分析結果を確認することができます。  
これらの結果は診療科単位で表示し、他施設・他診療科の結果を閲覧することはできません。

 他診療科への情報閲覧承認依頼や他診療科からの承認依頼対応は[こちら](#)から操作ください。

J-PCI ▼

Risk Calculator	施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較	手術件数	地域医療体制
登録データに基づいて構築されたリスクモデルを用いて、手術を受ける患者様の死亡率や合併症発症率等の予測値を計算することができます。	患者の術前リスクに関する項目の集計結果、および、登録データに基づいて推定された自施設診療科のパフォーマンス（死亡率や合併症発症率など）を確認することができます。	術式ごとの手術件数を確認することができます。貴診療科の位置（手術件数）をみることで、当該術式の手術件数が、全国の中でどのあたりに位置するのかを確認することができます。	承認を得た他施設診療科の術式別患者背景や施術情報の集計値を全国値とともに閲覧することができます。地域における患者・症例特性や各施設の特徴を確認できます。
準備中です	▼	準備中です	準備中です

専門領域【J-PCI】を選択してください。

施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較を選択してください。

# フィードバック機能の表示

NCD Feedback

専門領域: J-PCI

専門領域選択

Risk Calculator

照会期間【2020年～2022年】と選択し、【Submit】をクリックしてください。  
抽出がうまくいかない場合は2020年～2022年のいずれかを選択してご提出ください。

## 施設診療科の患者背景

自施設診療科の患者さんの背景とパフォーマンス指標を確認することができます。

全国と比較することで、自施設診療科がどのような傾向・特徴をもっているか、把握することができます。

照会期間を入力してください。

西暦  年 ~ 西暦  年

Submit

全国比較の照会結果が表示されます。印刷して、申請書と併せて、提出します。

		自施設診療科			
		期間A (n=6)			
		発生数	選択期間の総症例数	%	パフォーマンスの全国比較
1	ACS症例の割合	5	6	83.3%	施設数 50 0 20 40 60 80
2	緊急症例の割合	4	6	66.7%	施設数 50 0 20 40 60 80
3	非緊急例におけるMain Branch以外へのPCIの割合	1 (1)	6	100.0%	施設数 50 0 20 40 60 80

# フィードバック機能の表示

## 研修施設 更新申請 内容確認

ログアウトする

申請内容を確認してください。

### 認定基準

- 認定基準を満たしています。

項目	認定基準				状況	
	新規		更新		判定	実績
	研修関連施設	研修施設	研修関連施設	研修施設		
心血管造影室が設置されていること	必須				適	-

心血管造影室専任スタッフがいること
常勤の専門医または名誉専門医がいること
心臓血管外科との連携
カテーテル治療実績
冠動脈形成術実績

### その他・特記事項

申請に際し、特記事項などがあればご記入ください。

NCDフィードバックシステムの結果を、当院での治療方針の参考にしたいと考えます。

### 注意事項

- 特記事項の内容が末尾まで印字されているかご確認ください(印字エリアはおおよそ30文字/10行)。
- 所属医師(CVIT会員)在籍証明書には50名まで印字されます。  
50名を超えた分の所属医師については印字されませんが、受理されております。
- 確認書は受理されません。  
必ず申請書(右下にバーコードが印字されているもの)をご提出ください。

内容を確認する

申請書を発行する

内容確認ページの「その他・特記事項」にNCDフィードバックシステム（施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較）に対する自施設のご意見をご記載ください。

# 自施設と全国比較した結果の意見記載内容【例】

- STEMI例におけるDoor to balloon Timeが90分未満の割合が少なく、今後はカテーテルチームスタッフのオンコール体制の強化を行います。
- 当院は緊急ACS症例が多いのですが、STEMIにおいてDoor to Balloon Timeが長いという欠点があり改善が必要である。
- 緊急PCIにおける死亡率が高いのは超高齢者で心原性ショックを合併しての来院であったためと考えられる。
- NCDフィードバックシステムの結果を、当院での治療方針の参考にしたいと考えます。
- NCDフィードバックシステムも有効に活用して、日々の診療ならびにPCI手技に反映していきたいと考えております。
- 全国標準と比べ、大きな隔たりのない結果を考えています。ACS症例が当院多いため、術前抗血小板薬の割合が低めにでているかと判断します。非緊急症例における虚血評価例の割合は、全国平均と比べ高く、カテーテル適応とする前段階での評価は対応できていると考えます。